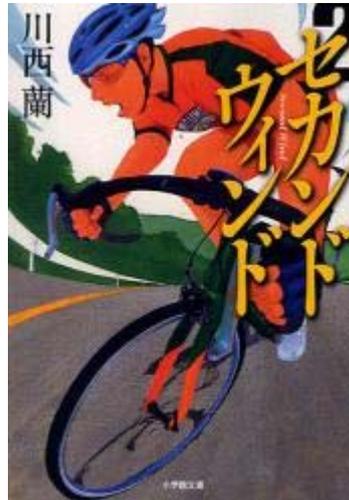


2010年度 入試に出た本～公立高校編～

Dr.関塾 おすすめ読書 NO.1



【北海道】
『木と私たち 詩集』
高野民雄
[詳細はこちら](#)



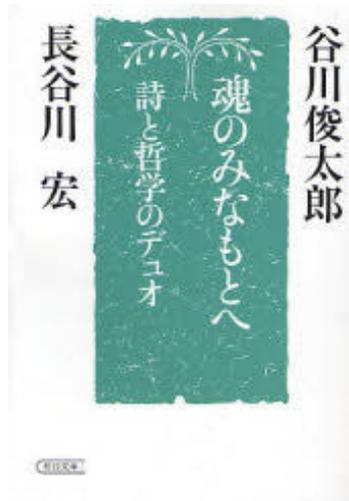
【北海道】
『セカンドウィンド2』
川西蘭
[詳細はこちら](#)



【北海道】
『自然再生
持続可能な生態系のために』
鷺谷いずみ
[詳細はこちら](#)



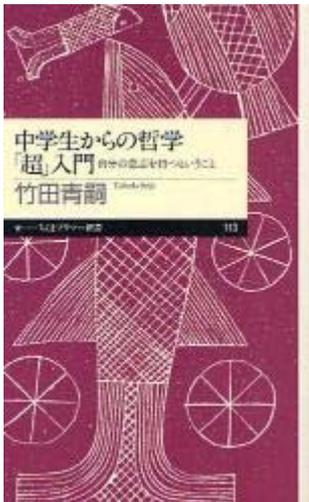
【青森県】
『和の思想
異質のものを共存させる力』
長谷川権
[詳細はこちら](#)



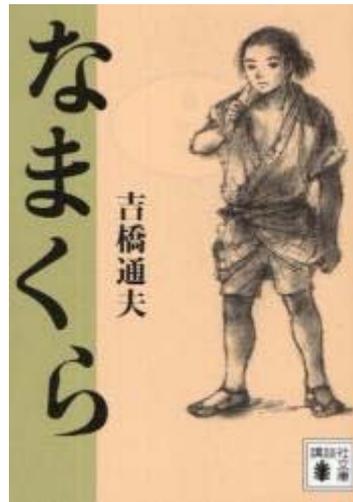
【青森県】
『魂のみなもとへ
詩と哲学のデュオ』
谷川俊太郎／長谷川宏
[詳細はこちら](#)



【岩手県】
『少年譜』
伊集院静
[詳細はこちら](#)



【岩手県】
『中学生からの哲学「超」入門
自分の意思を持つということ』
竹田青嗣
[詳細はこちら](#)



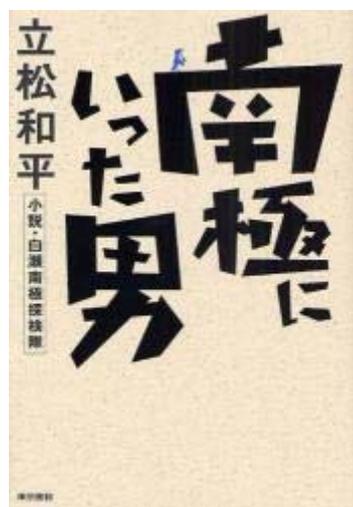
【宮城県】
『なまくら』
吉橋通夫
[詳細はこちら](#)



【宮城県】
『美しいをさがす旅にでよう』
田中真知
[詳細はこちら](#)



【秋田県】
『貧乏クジ世代
この時代に生まれて損をした！？』
香山リカ
[詳細はこちら](#)



【秋田県】
『南極にいった男
小説・白瀬南極探検隊』
立松和平
[詳細はこちら](#)



【山形県】
『ぼくたちはきっとすごい大人
になる』
有吉玉青
[詳細はこちら](#)

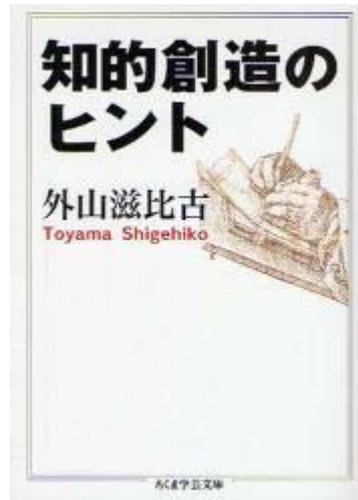


【福島県】

『レッツゴー! 川中WOW部』

阿部夏丸

[詳細はこちら](#)



【福島県】

『知的創造のヒント』

外山滋比古

[詳細はこちら](#)



【茨城県】

『津軽百年食堂』

森沢明夫

[詳細はこちら](#)



【茨城県】

『森林と人間』

ある都市近郊林の物語』

石城謙吉

[詳細はこちら](#)



【茨城県】

『三十一文字のパレット 2』

記憶の色』

俵万智

[詳細はこちら](#)



【栃木県】

『海を抱いたビー玉』

森沢明夫

[詳細はこちら](#)



【群馬県】

『噛みきれない想い』

鷺田清一

[詳細はこちら](#)



【群馬県】

『ぼくたちはきっとすごい大人になる』

有吉玉青

[詳細はこちら](#)



【埼玉県】

『猫を抱いて象と泳ぐ』

小川洋子

[詳細はこちら](#)

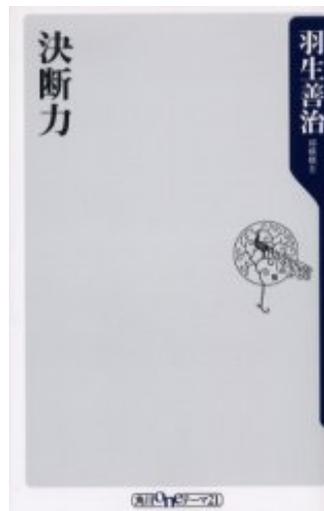


【埼玉県】

『ロボットのおへそ』

稲色哲也／池谷瑠絵／瀬名秀明

[詳細はこちら](#)



【千葉県】

『決断力』

羽生善治

[詳細はこちら](#)

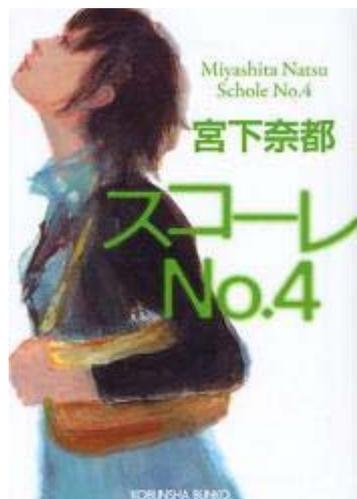


【千葉県】

『利休にたずねよ』

山本兼一

[詳細はこちら](#)



【東京都】

『スコール No.4』

宮下奈都

[詳細はこちら](#)



【東京都】

『難解な本を読む技術』

高田明典

[詳細はこちら](#)

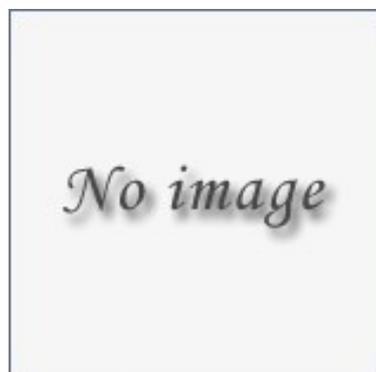


【都立日比谷】

『透明約束』

川上健一

[詳細はこちら](#)



【都立日比谷】

『情報の形而上学

新たな存在の階層の発見』

河村次郎

[詳細はこちら](#)



【都立日比谷】

『日本の書物への感謝』

四方田犬彦

[詳細はこちら](#)



【都立新宿】

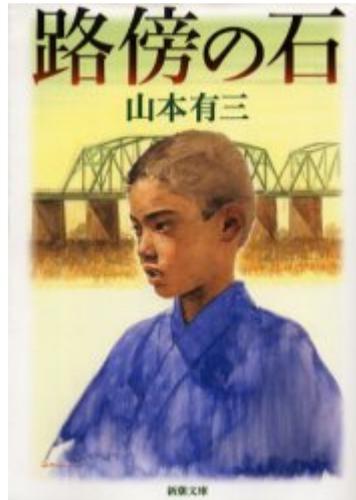
『きもの』

幸田文

[詳細はこちら](#)



【都立新宿】
『魂の旅地球交響曲
(ガイアシンフォニー) 第三番』
龍村仁
[詳細はこちら](#)



【都立戸山】
『路傍の石』
山本有三
[詳細はこちら](#)



【都立戸山】
『縮小文明の展望
千年の彼方を目指して』
月尾嘉男
[詳細はこちら](#)



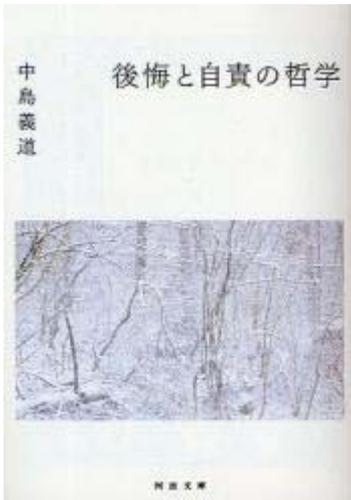
【都立戸山】
『漢詩の魅力』
石川忠久
[詳細はこちら](#)



【都立両国】
『プールサイド小景・静物』
庄野潤三
[詳細はこちら](#)



【都立両国】
『噛みきれない想い』
鷺田清一
[詳細はこちら](#)



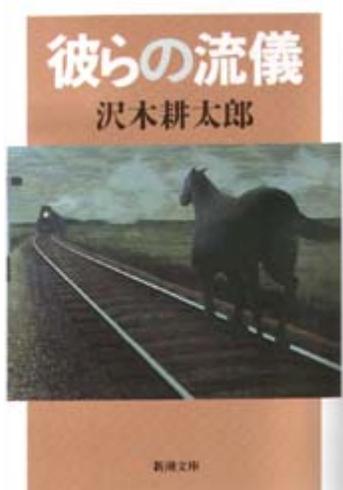
【都立青山】
『後悔と自責の哲学』
中島義道
[詳細はこちら](#)



【都立西】
『少年譜』
伊集院静
[詳細はこちら](#)



【都立西】
『「待つ」ということ』
鷺田清一
[詳細はこちら](#)



【都立八王子東】
『彼らの流儀』
沢木耕太郎
[詳細はこちら](#)



【都立八王子東】
『思考の整理学』
外山滋比古
[詳細はこちら](#)



【都立八王子東】
『文豪の古典力
漱石・鴎外は源氏を読んだか』
島内景二
[詳細はこちら](#)



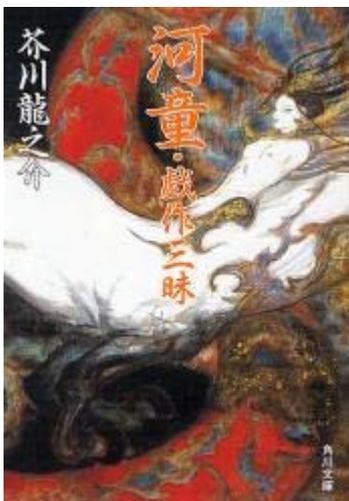
【都立立川】
『アーモンド入りチョコレート
のワルツ』
森絵都
[詳細はこちら](#)



【都立立川】
『時間と自己』
木村敏
[詳細はこちら](#)



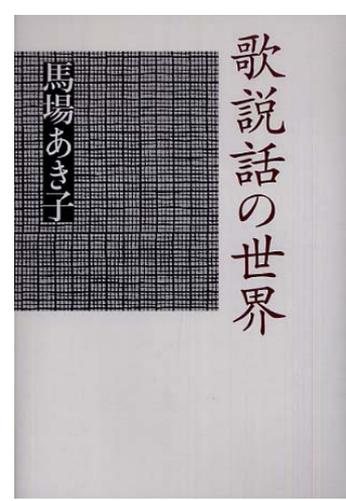
【都立立川】
『王朝の恋の手紙たち』
川村裕子
[詳細はこちら](#)



【都立国分寺】
『戯作三昧』
芥川龍之介
[詳細はこちら](#)



【都立国分寺】
『科学者とは何か』
村上陽一郎
[詳細はこちら](#)



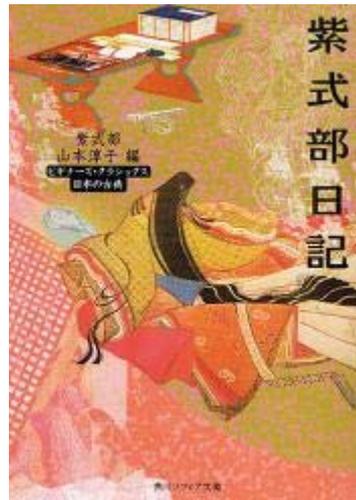
【都立国分寺】
『歌説話の世界』
馬場あき子
[詳細はこちら](#)



【都立国立】
『松林図屏風』

萩耿介

[詳細はこちら](#)



【都立国立】
『紫式部日記』

山本淳子

[詳細はこちら](#)



【都立墨田川】
『たまごを持つように』

まはら三桃

[詳細はこちら](#)



【都立墨田川】
『「汚い」日本語講座』

金田一秀穂

[詳細はこちら](#)



【都立墨田川】
『俳句の基本とその応用』

大輪靖宏

[詳細はこちら](#)



【都立武蔵】
『歴史学入門』

福井憲彦

[詳細はこちら](#)



【都立富士】
『彼女の知らない彼女』
里見蘭
[詳細はこちら](#)

「時間」を哲学する
過去はどこへ行ったのか
中島義道

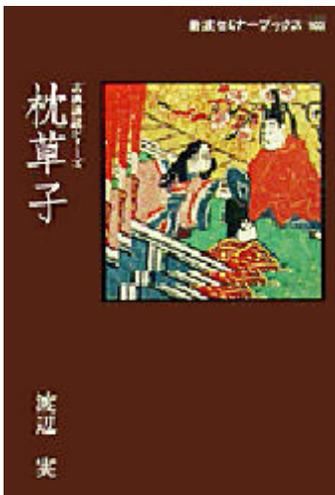


講談社現代新書
1283

【都立富士】
『「時間」を哲学する
過去はどこへ行ったのか』
中島義道
[詳細はこちら](#)



【都立大泉】
『蜜柑』
芥川龍之介
[詳細はこちら](#)



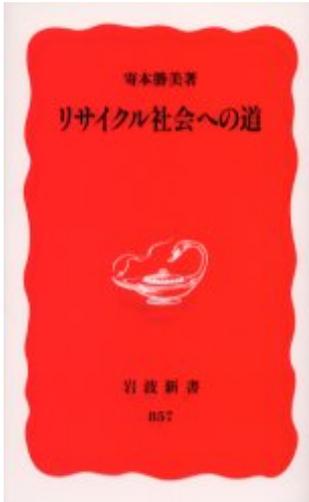
【都立大泉】
『枕草子』
渡辺実
[詳細はこちら](#)



【神奈川県】
『モデラートで行こう♪』
風野潮
[詳細はこちら](#)



【神奈川県立横浜翠嵐】
『自然はそんなにヤワじゃない
誤解だらけの生態系』
花里孝幸
[詳細はこちら](#)



【神奈川県立平塚江南】
『リサイクル社会への道』
寄本勝美
[詳細はこちら](#)



【神奈川県立平塚江南】
『少年譜』
伊集院静
[詳細はこちら](#)



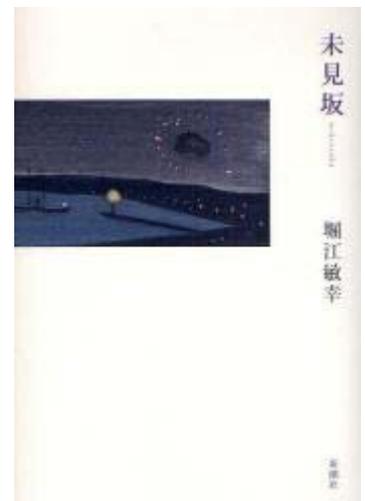
【神奈川県立平塚江南】
『かたちの日本美
和のデザイン学』
三井秀樹
[詳細はこちら](#)



【神奈川県立小田原】
『語りだすオブジェ
いつも、そこに短歌』
松村由利子
[詳細はこちら](#)



【神奈川県立小田原】
『食べることの心理学
食べる、食べない、好き、嫌い』
今田純雄
[詳細はこちら](#)



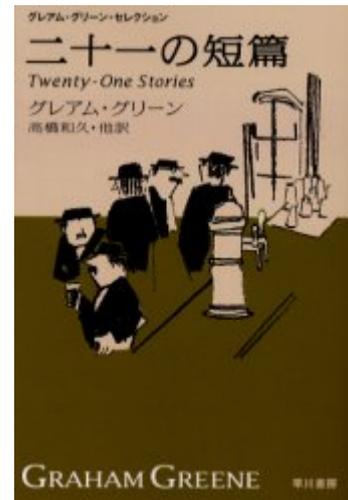
【神奈川県立柏陽】
『未見坂』
堀江敏幸
[詳細はこちら](#)



【神奈川県立柏陽】
『人はなぜ働かなくてはならないのか 新しい生の哲学のために』
小浜逸郎
[詳細はこちら](#)



【神奈川県立湘南】
『なんにもないところから芸術が始まる』
榎木野衣
[詳細はこちら](#)



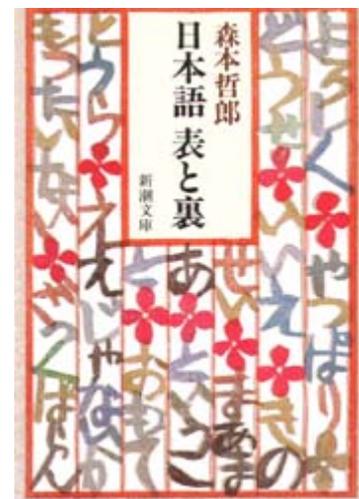
【神奈川県立湘南】
『二十一の短編』
グレアム・グリーン
[詳細はこちら](#)



【新潟県】
『和の思想
異質のものを共存させる力』
長谷川權
[詳細はこちら](#)



【富山県】
『夜のピクニック』
恩田陸
[詳細はこちら](#)



【富山県】
『日本語 表と裏』
森本哲郎
[詳細はこちら](#)



【石川県】
『美術の核心』
千住博
[詳細はこちら](#)



【石川県】
『木』
幸田文
[詳細はこちら](#)



【福井県】
『食べるって何？食育の原点』
原田信男
[詳細はこちら](#)



【福井県】
『たまごを持つように』
まはら三桃
[詳細はこちら](#)



【長野県】
『国土学再考
「公」と新・日本人論』
大石久和
[詳細はこちら](#)



【長野県】
『道の先まで行ってやれ！
自転車、飲んで笑って、涙する旅』
石田ゆうすけ
[詳細はこちら](#)



【岐阜県】
『ぼくたちはきっとすごい大人になる』
有吉玉青
[詳細はこちら](#)



【岐阜県】
『和の思想
異質のものを共存させる力』
長谷川権
[詳細はこちら](#)



【静岡県】
『半パン・デイズ』
重松清
[詳細はこちら](#)



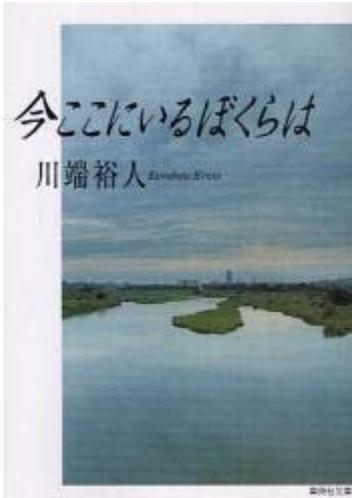
【静岡県】
『入門! システム思考』
枝廣淳子/内藤耕
[詳細はこちら](#)



【愛知県A】
『カタコトのうわごと』
多和田葉子
[詳細はこちら](#)



【愛知県A】
『博物館へ行こう』
木下史青
[詳細はこちら](#)



【愛知県B】
『今ここにいるぼくらは』
川端裕人
[詳細はこちら](#)



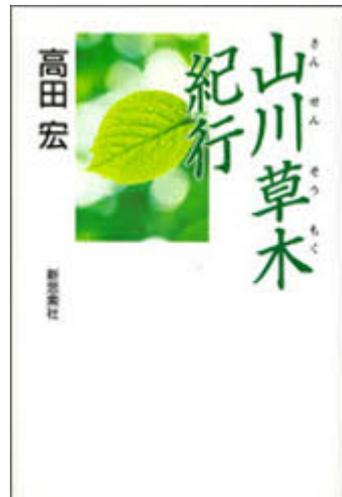
【三重県】
『やまびこのうた』
笹山久三
[詳細はこちら](#)



【三重県】
『和の思想
異質のものを共存させる力』
長谷川權
[詳細はこちら](#)



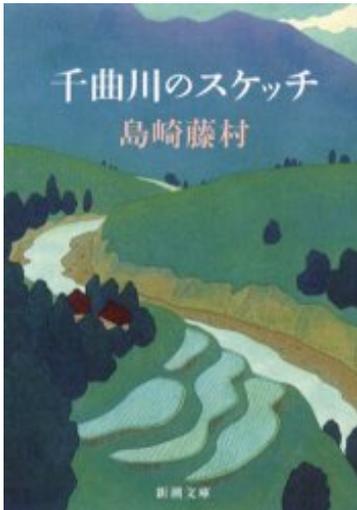
【滋賀県】
『俳句脳
発想、ひらめき、美意識』
茂木健一郎／黛まどか
[詳細はこちら](#)



【滋賀県】
『山川草木紀行』
高田宏
[詳細はこちら](#)

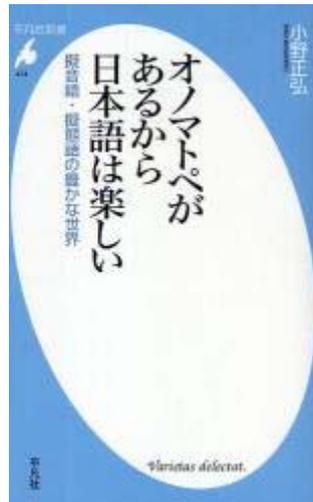


【大阪府前期】
『科学技術と社会
なぜ対話が必要なのか』
黒田玲子
[詳細はこちら](#)



【大阪府前期】
『千曲川のスケッチ』
島崎藤村

[詳細はこちら](#)



【大阪府後期】
『オノマトペがあるから日本語は楽しい』
擬音語・擬態語の豊かな世界』
小野正弘

[詳細はこちら](#)



【大阪府後期】
『感動する脳』
茂木健一郎

[詳細はこちら](#)



【兵庫県】
『その言い方が人を怒らせる』
ことばの危機管理術』
加藤重広

[詳細はこちら](#)



【兵庫県】
『雪の降る道』
辻村深月

[詳細はこちら](#)



【奈良県】
『和の思想』
異質のものを共存させる力』
長谷川権

[詳細はこちら](#)



【奈良県】
『ピーナツ・バターで始める朝』
片岡義男
[詳細はこちら](#)



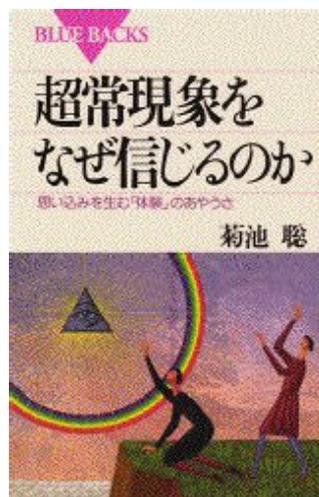
【和歌山県】
『木の教え』
塩野米松
[詳細はこちら](#)



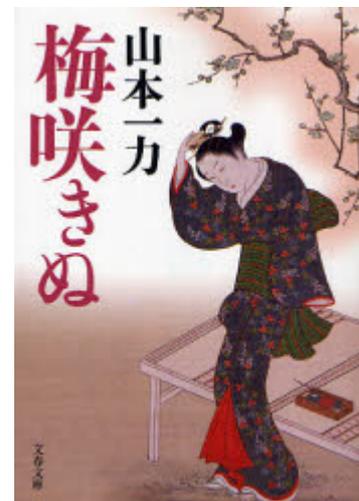
【和歌山県】
『教養としての言語学』
鈴木孝夫
[詳細はこちら](#)



【和歌山県】
『日本語の作法』
外山滋比古
[詳細はこちら](#)



【鳥取県】
『超常現象をなぜ信じるのか
思い込みを生む「体験」のあやうさ』
菊池聡
[詳細はこちら](#)



【鳥取県】
『梅咲きぬ』
山本一力
[詳細はこちら](#)



【島根県】

『原稿用紙10枚を書く力』

齋藤孝

[詳細はこちら](#)



【島根県】

『キリコさんの失敗』

小川洋子

[詳細はこちら](#)



【岡山県】

『いつかふたりで』

草野たき

[詳細はこちら](#)



【岡山県】

『日本語教のすすめ』

鈴木孝夫

[詳細はこちら](#)



【岡山県】

『ことばと文化』

鈴木孝夫

[詳細はこちら](#)



【岡山県】

『中国名文選』

興膳広

[詳細はこちら](#)

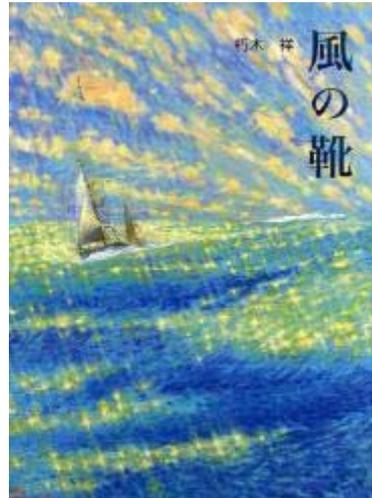


【岡山県立岡山朝日】

『独学の精神』

前田英樹

[詳細はこちら](#)



【岡山県立岡山朝日】

『風の靴』

朽木祥

[詳細はこちら](#)



【広島県】

『サンタ・エクスプレス』

重松清

[詳細はこちら](#)



【広島県】

『文章の品格』

林望

[詳細はこちら](#)



【山口県】

『ぼくたちはきっとすごい大人になる』

有吉玉青

[詳細はこちら](#)



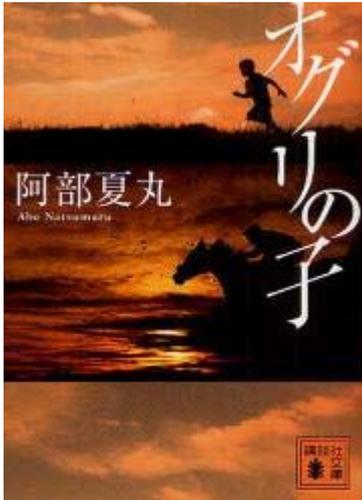
【山口県】

『和の思想』

異質のものを共存させる力』

長谷川權

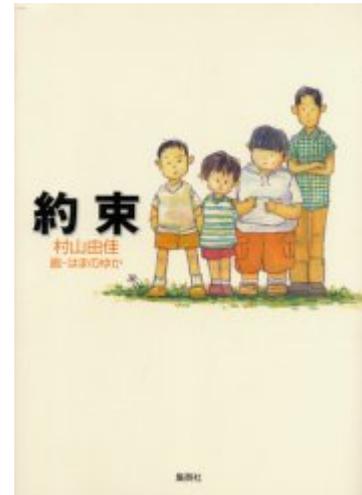
[詳細はこちら](#)



【徳島県】
『鬼やんま』
阿部夏丸
[詳細はこちら](#)



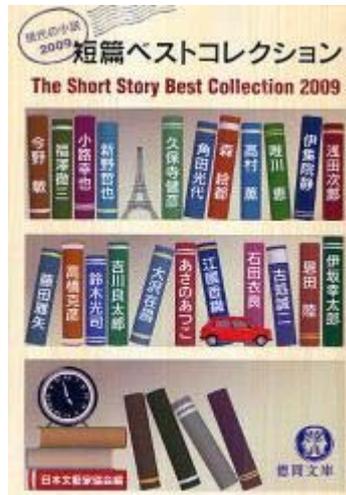
【徳島県】
『怯えの時代』
内山節
[詳細はこちら](#)



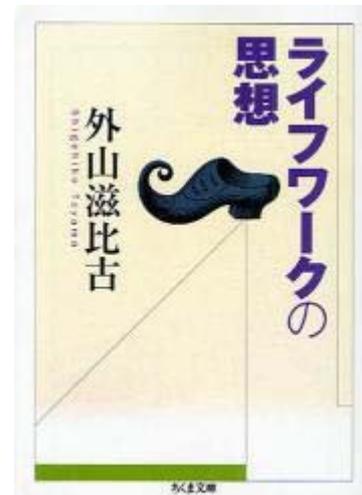
【香川県】
『約束』
村山由佳
[詳細はこちら](#)



【愛媛県】
『読む力は生きる力』
脇明子
[詳細はこちら](#)



【愛媛県】
『まぶしいもの』
伊集院静
[詳細はこちら](#)



【高知県】
『ライフワークの思想』
外山滋比古
[詳細はこちら](#)



【高知県】
『心の底をのぞいたら』
なだいなだ
[詳細はこちら](#)



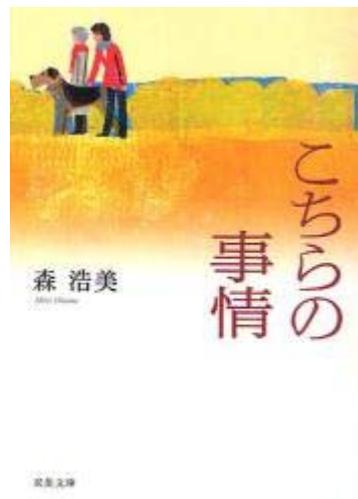
【福岡県】
『生きる力をさがす旅』
子ども世界の文化人類学』
波平恵美子
[詳細はこちら](#)



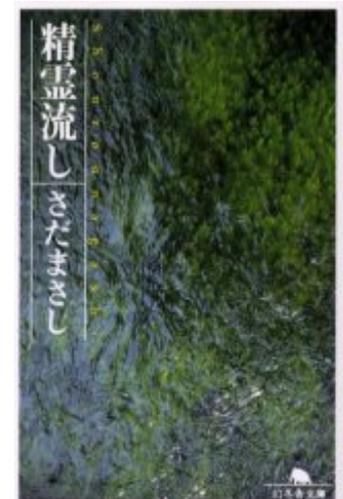
【福岡県】
『日本の美を求めて』
東山魁夷
[詳細はこちら](#)



【佐賀県】
『知的創造のヒント』
外山滋比古
[詳細はこちら](#)



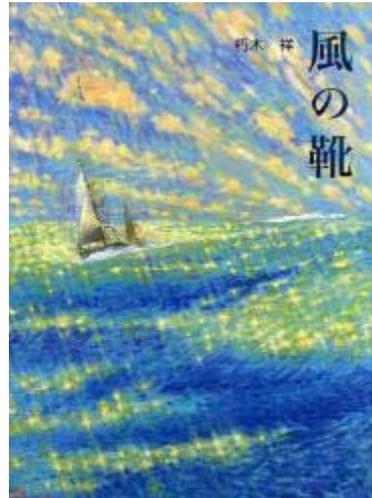
【佐賀県】
『荷物の順番』
森浩美
[詳細はこちら](#)



【長崎県】
『精霊流し』
さだまさし
[詳細はこちら](#)



【長崎県】
『街場の教育論』
内田樹
[詳細はこちら](#)



【大分県】
『風の靴』
朽木祥
[詳細はこちら](#)



【大分県】
『違和感のチカラ』
最初の「あれ？」は案外正しい』
齋藤孝
[詳細はこちら](#)



【宮崎県】
『やまびこのうた』
笹山久三
[詳細はこちら](#)



【鹿児島県】
『和の思想』
異質のものを共存させる力』
長谷川權
[詳細はこちら](#)



【鹿児島県】
『たまごを持つように』
まはら三桃
[詳細はこちら](#)



【沖縄県】
『黄色い目の魚』
佐藤多佳子
[詳細はこちら](#)



【沖縄県】
『日本語の文法を考える』
大野晋
[詳細はこちら](#)